



きよせ市議会だより

平成19年5月15日第173号

(2007年)

発行 清瀬市議会
清瀬市議会事務局
清瀬市中里5-8 4 2
電話 (042) 492-5111(代)
清瀬市ホームページ
http://www.city.kiyose.tokyo.jp/

平成19年度一般会計予算 賛成多数で可決

平成19年
第1回定例会

平成19年清瀬市議会第1回定例会は、3月1日(木)から27日(火)までの27日間の会期で開催しました。

今定例会では、平成19年度清瀬市一般会計予算及び国民健康保険事業、老人保健医療、下水道事業、駐車場事業、介護保険受託水道事業の各特別会計予算等、市長提出議案43件、議員提出議案(条例、意見書等)7件、市民の皆様から提出された陳情1件を審議しました。

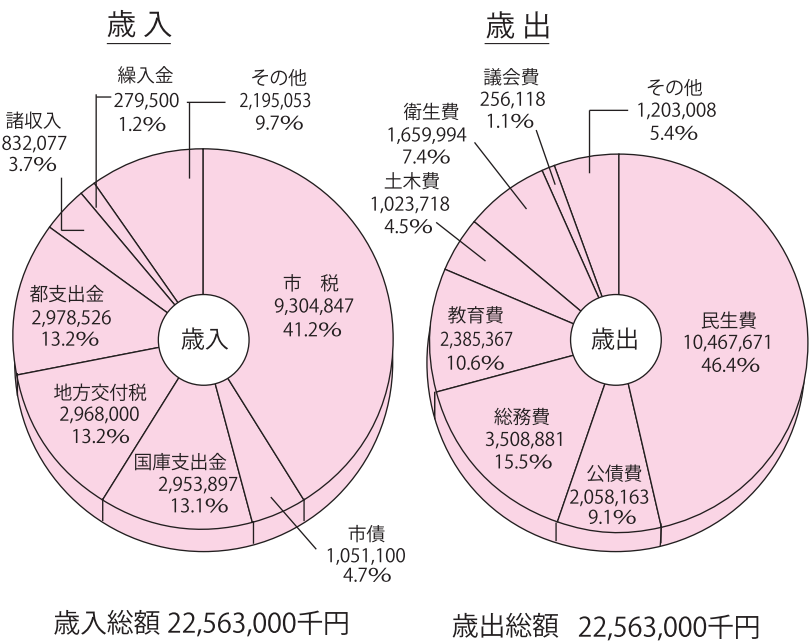
なお、平成19年度清瀬市一般会計予算については、予算特別委員会を設置し、3月9日(金)、3月12日(月)、3月13日(火)の3日間で審査しました。また、その他の議案についても各常任委員会で審査し、本会議では、陳情1件が不採択となり、他は原案のとおり可決、承認、同意及び了承されました。



春爛漫の街の中を通行する「きよバス」

一般会計歳入歳出予算構成表

(単位：千円)



平成19年度予算は、歳入の要である市税収入は、税源移譲や定率減税の廃止等により個人住民税を中心に大幅な増加となるものの、一方では、所得譲与税や地方特例交付金等が廃止されるなど、市財政を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況にあります。

このような中、行政課題である安全・安心のまちづくりや乳児医療費助成などの子育ての拡充、学力向上及び教育環境の向上、柳瀬川回廊の整備などに対応する予算を計上しております。

平成19年度一般会計の予算規模は、前年度と比較すると1.2%増の22億6千300万円となっておりますが、防犯パトロールの実施など安全・安心のまちづくりを推進する取り組みをはじめ、放課後子ども教室の実施など放課後子ども対策及び母子保健計画の見直し、市民健康診査等の拡充など市民の健康を守る対策及び乳幼児医療費助成の無料化の拡大、義務教育就学児医療費の助成など子育て支援の充実及び学力向上、学校教育施設の充実及びパイプハウスの整備助成、新元気をいっしょに商店街事業への支援など魅力ある都市農業の育成と活気ある商業の育成及び柳瀬川回廊整備事業など緑の保全・快適住環境都市への取り組み等の予算化を図っております。

特別会計予算では、国民健康保険事業特別会計等の増額により、全体では前年度と比べて7.4%増の195億2千310万円となっております。

平成19年度予算のあらまし

反対討論 日本共産党

今、暮らしは、増税や社会保障制度の改悪で厳しくなっている。市税条例改正で税負担の軽減を提案したが、検討すらしなかった。07年度予算は、乳幼児医療費など市民要望を反映している反面、高齢者施策の後退、就学援助制度の基準も復活せず、耐震診断や補強工事助成を見送り、子どもたちの競争選別をおろそかにしている。これまでも高齢者や障がい者、保育予算は経年的に抑制され、市民健診や教育費など一般財源が必要な施策だけ見直され、さらに清瀬小児病院移転にも理解を示す態度に転換した。移転反対を貫いて当然だ。以上反対する。

賛成討論 清瀬自民クラブ

清瀬市は、他市に先駆け、改革への努力を行い、各方面より高い評価を得ています。星野市長は、改革と平行して、しっかりとまちづくりを進めていくため、「個性を生かした魅力あるまちづくり」、「清瀬の都市力、つまり清瀬力を高めるまちづくり」、そして「誰もが健康で、子育てがしやすいまちづくり」の三つの考えを柱として、多くの課題に的確に対応する予算案を編成されました。行財政改革への意気込みと、市民サービスのさらなる向上を図る平成19年度一般会計予算案に、大いに期待し、清瀬自民クラブとして賛成の意見を表明いたします。

反対討論 清瀬市民会議

予算案に反対する主な理由は次の通りです。
① 清瀬市国民保護計画が策定され、国が求める武力攻撃事態への対処などが盛り込まれました。平和を願う市民の願いと逆行します。
② 中立的な教育の実践を掲げていた教育基本法が改定され、競争を激化させる学力テスト導入の予算が計上されました。子どもたちにはゆとりこそが必要です。
③ 清瀬東高校跡地は、大プロジェクトです。財政面や市民全体の合意形成を得るために、白紙の状態、検討委員会に委ねるべきです。
④ 清瀬市男女平等推進条例に相応しい、女性職員の登用が求められています。

賛成討論 公明党

平成9年度からの行財政改革は、評価いたします。しかし、地方行政を取り巻く厳しい財政状況や情勢変化への対応と、様々な行政需要にこたえていくためには、システムの改革など、なお一層の行財政改革を断行しなければなりません。福祉社会の形成、資源循環型社会の構築、教育環境の整備など、今日的な政策課題です。また情報公開、市民協働のまちづくりや地方分権の推進は、まちづくりの重要な要素であり、十分な配慮と積極性を持って、個性ある都市の形成に取り組むことを要望します。また平成19年度の事業内容に賛同し、新年度予算の賛成討論いたします。

賛成討論 生活者ネット・民主党

厳しい財政状況のもとで、行財政改革等により、効率的な運営の取り組みは評価し、予算に賛成するが、職員人件費の削減に特化しており、職員構成の約45%が50歳代にも関わらず、採用計画も示されないことは問題である。また、清瀬東高校跡地等の購入を含めた問題は、広く市民の意見を聞くことがまず必要である。さらに市民とともにまちづくりを進めるために、市民協働ガイドラインの策定は不可欠と考える。子育て環境の充実が図られたが、就学援助や奨学金の充実で、子どもの学びを保障し、生きる力をつけることを求め、賛成討論いたします。

賛成討論 清瀬21の会

本予算は、わが国経済の穏やかな景気拡大基調を背景に、市税が近年最大の93億円と増加した中で組まれ、積極的な施策展開が成されています。一方、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、26市で中位の91.7%と改善され、公債費比率も10%と健全な財政運営に近づいていることは、評価し、賛成するものです。昨春秋、米国での行政視察を、実施しましたが、米国の市政は、パブリックコメント制等市民合意形成を最重要視しています。これからは、本市の市政にあっても結果と同じくプロセスと市民合意が重要視される市政を要望し、賛成討論いたします。